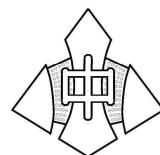


手をたずさえて

“KOHARADA WAY” 自分に打ちかて

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年10月22日(木) 発行

【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

垣根のように固く結ばれた友・仲間(“友垣”)との1日でした! 2020.10.16 友垣祭 開催

“友垣”の意味するもの

校歌の2番の歌詞にある「友垣」という言葉。本校の文化祭は「友垣祭」と命名されています。そう言えば、童謡『ふるさと』の歌詞の中にも「友垣」があります。「いかにいます、父母。つつがなしや、ともがき。」(どうしてですか、お父さんお母さん。何事もなくくらしているのでしょうか、友だちは)「友垣」とは、交わりを結ぶことを垣根を結ぶのにたとえたもので、意味は「友・友だち」です。

前に進むとき、うまくいなくて苦しいとき、誰かの力がほしいとき、垣根のように支え、力をくれる「友・友だち・仲間」がいる。これが「友垣」の意味するところで、「友垣」という言葉、よく考えてみると、温かい気持ちになる素敵な言葉です。

「垣根のように固く結ばれた友や仲間」とともに、見事にクラス合唱をつくり上げた生徒のみんなに大きな拍手をおくります。規模縮小となった友垣祭でしたが、意味のある1日になったと思います。



友垣祭を牽引した3年生たち

“音楽の力”と“学級力”が繋がった合唱コンクール

【演奏曲目・指揮者・伴奏者(演奏順)】

年	組	曲名	指揮者	伴奏者
2年	● 3組	結-ゆい-	宮田真由	◆ 近藤 凪
	2組	心の瞳	◆ 鈴木遼介	佐々木柚依
	1組	COSMOS	松坂梨瑚	神田ももか
1年	3組	大切なもの	渡邊笑愛	江川実優
	2組	遠くまで	菊地瑛心	青柳樹里
	● 4組	あさがお	◆ 吉田里桜	◆ 横田花穂
3年	1組	明日という日が	凌りくな	高橋穂乃佳
	◎ 4組	証	◆ 佐藤 麗	—
	3組	手紙	遠藤 光	西牧春香
	1組	虹	小島 遥	◆ 矢吹芽依
	2組	友~旅立ちの時~	菅野 淳	杉村かえら

◎金賞・最優秀賞 ●金賞 ◆指揮者賞・伴奏者賞

事前に行われた学年リハーサルを数回観て、各学年ともにクラス間の差がなくなってきたのを感じていました。当日の審査は僅差で難くなるだろうと予想されました。その通りの当日の演奏と審査となりました。



1年生は1年生らしい初々しい歌声でした。2年生は男声女声のバランスのとれたまとまりのある合唱でした。3クラスの差が少なく来年度の合唱が楽しみです。そして、3年生。さすがでした。心に響く質の高い合唱を披露してくれました。その中で無伴奏の合唱にチャレンジした3年4組が見事“最優秀賞”に輝き、11月12日(木)に郡山市民文化センターで開催される郡山市音楽学習発表会(市内中学校で代表に選ばれたクラス等が一堂に会し演奏を披露する会)に学校代表として出場します。是非とも4組らしい歌声を会場いっぱい響かせてほしいと思います。今回の合唱コンクールを通して、各クラスともに困難を乗り越え、成長することができたのではないのでしょうか。“音楽の力”と“学級力”がしっかりと繋がり合った合唱コンクールでした。



『合唱コンクール』を振り返って…

今回“金賞”を受賞したクラスの代表生徒にその想いを書いてもらいました。

私は、今回の合唱コンクールで努力することの大切さを学びました。私たちは、練習が始まったばかりのころ、練習しても金賞をとることは無理だろうな、とあまり練習に身が入りませんでした。ですが、二宮先生が練習に対する真剣さが足りないのではないかと、言ったのをきっかけに、私たちは真剣に練習するようになりました。すると上達していくのを感じ、金賞をとることを夢ではなく目標にして、さらに努力を重ねました。

私はこのときの努力があったから金賞をとることができたのかな、と改めて努力することの大切さを実感しました。今回実感した努力の大切さを来年の合唱コンクールだけでなく、様々なことに生かしていきたいです。

2年3組「結 ゆいー」

(1年4組 吉田里桜)



今回、クラス替えをして最初の合唱コンクールがありました。私たちのクラスは「結 ゆいー」という曲を選びました。この曲は、未来へ向かっていく上での仲間を信じる気持ちや絆の大切さが歌詞に込められています。難しい曲だというのは選曲する前から分かっていましたが、挑戦したい思いのほうが強く、この曲に決めました。

いざパートごとに譜読みを進めていくと、リズムや音程、発音や強弱などの課題が浮かび上がってきました。音楽の授業で練習を重ねていくうちに、朝・昼休み・放課後の練習が始まりました。最初は朝の場合、練習を始める時間までに集まっていたのは数人程度でした。でも本番が近づくと徐々に増え、ほとんど全員が集まるようになりました。一回一回の歌を大切にみんなで合唱を作り上げました。そして、友垣祭当日になりました。トップバッターなので緊張した人が多いと思いますが、今までで最高の合唱ができたと思ったし、強弱や表情も良かったです。結果発表のとき、「金賞クラスは…2年3組です」と言われた瞬間、本当に嬉しかったです。

私はこの合唱コンクールで再認識できたことが2つあります。1つ目はクラスの団結力の強さです。1つの目標に向かって全力で取り組む「2年3組」の力が強くなり、お互いに理解し、協力し合う重要性も感じられました。これからの行事や生活などにもこれらの力を生かしていきたいです。2つ目は音楽の力です。音楽には人を感動させたり、勇気づけたりするなど、心を動かす力があります。それはすごいことだなと思いました。この合唱コンクールで学んだことはたくさんありました。その一つ一つを忘れず心に刻み、これからも残り半分をきった中学校生活を楽しんで充実したものにしていきたいと思います。

(2年3組 宮田真由)

今回の合唱コンクールで私たち4組は、本来ピアノの伴奏があるはずの曲をアカペラで歌う、前代未聞の挑戦でした。

曲が決定したばかりの頃は、テンポが極端に遅くなったり、パートごとの音程がずれてしまったりと、練習がうまくいかず苦戦していました。しかし、毎日、朝・昼休み・放課後の練習を重ねる曲への理解を深めていくうちに、クラス一人ひとりの心が一つになり、合唱コンクール本番では、金賞という結果を収めることができました。

この結果を通して、クラスの絆が今までより一層深まった気がします。

文化センターでも3年4組らしい「証」を奏でたいと思います。(3年4組 佐藤 麗)

3年4組「証」



音楽科阿部先生からの総評です！

みなさん、合唱コンクールお疲れ様でした。今回はコロナウイルスの影響もあり、短い練習期間でしたが、本番が近づくにつれチームワークが高まり、当日はどのクラスも素晴らしい演奏でした。3年生は最後の合唱コンクールにかけの意気込みが伝わってくる熱い演奏で、心が揺さぶられました。また、曲選びや曲の仕上げ方にも各クラスの個性が表れていて聴衆を楽しませてくれました。卒業式でも3年生らしい素晴らしい歌声を響かせて下さい。1・2年生は中学生らしい素直な歌声で、心に訴えかけてくるものがありました。

“歌う”の語源は“訴える”だと言われています。来年の合唱コンクールでは言葉の意味や作詞・作曲者の思いをくみ取り、聴く人に訴えかける演奏をしてほしいと思います。クラスの仲間と協力し練習に励んだ過程で学んだことを、ぜひ今後の生活に生かして下さい。音楽を通して自分の気持ちを伝えられるよう、これから一緒に楽しんで学んで行きましょう！

